

ヒートルールについて

今年の夏大会も大変暑くなることが予想され、熱中症が懸念されます。そこで、本戦（7月7日）から全種目においてヒートルールを採用します。ヒートルールについては以下の通りです。

定められた種目に限り、会場での気温が摂氏 35 度以上になった場合、最終セットの前に、10 分間のコート外での休憩(セットブレイク間の 120 秒を含む)が認められる。この 10 分間の休憩では、トイレ、着替えは出来るが、コーチングを受けることはできない。メディカルタイムアウトはレフェリーが許可した場合に限る。気温を測る場所はレフェリーがコートサイドの風通しの良い日陰を選んで決定し、測る時間は試合開始の 30 分前、開始以降は 3 時間毎に、ドクターまたはトレーナーがレフェリーとともに確認する。ドクターまたはアスレチックトレーナーが不在のときはレフェリーが行う。会場で正確な気温が測れない場合は、最寄りの気象庁または観測所に問い合わせる。

試合進行中にヒートルール採用が決定された場合は、最終セットの前に休憩を取ることができる。試合進行中に気温が下がった場合でも、一度ヒートルールが決定された試合には、試合途中で中断がない限り、休憩は解除されない。

(JTA テニスルールブック 2018 より)